



大地の恵みと伝統・文化にはぐくまれた郷土愛にあふれる、いきいきと暮らせるまち

みなみ風



発行/新潟市南区役所
編集/南区役所地域総務課
〒950-1292 南区白根1235番地
電話 025(373)1000(代表)
FAX 025(373)2385

南区ホームページ <https://www.city.niigata.lg.jp/minami/> Eメール chiikisomu.s@city.niigata.lg.jp (南区役所地域総務課)

南区の人口(令和2年12月末現在、カッコ内は前月比): 44,134人(-67) 男: 21,451人(-31) 女: 22,683人(-36) 世帯数 16,344世帯(+17) (住民基本台帳による)

安心して暮らせるまちを目指して

認知症を『自分ごと』に

認知症を自分には関係ない『他人ごと』と思っていませんか。いつ自分や家族、親しい人になるか分かりません。認知症になったとき、家族は頼れますか?家族以外に頼れる人や場所がありますか?私たちが住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくためにどうしたらよいか、認知症を『自分ごと』として考えてみましょう。

問い合わせ 健康福祉課 ☎372-6320

認知症とは お医者さんに聞きました

認知症は脳の病気

認知症とは、後天的な脳の障害により認知機能が低下し、日常生活や社会生活に支障を来すようになった状態をいいます。



医療法人社団 敬成会
白根緑ヶ丘病院
理事長・院長 佐野 英孝さん



認知症カフェの様子

南区民の傾向

- 認知症の症状が進んでから医療機関を受診する人が多い。
- 認知症になっても車の運転をする人がいます。大変危険ですので運転免許証の自主返納をお勧めします。(道路交通法では認知症は免許の取り消し要件です)

認知症の予防 ※絶対に認知症にならないという予防法はありません

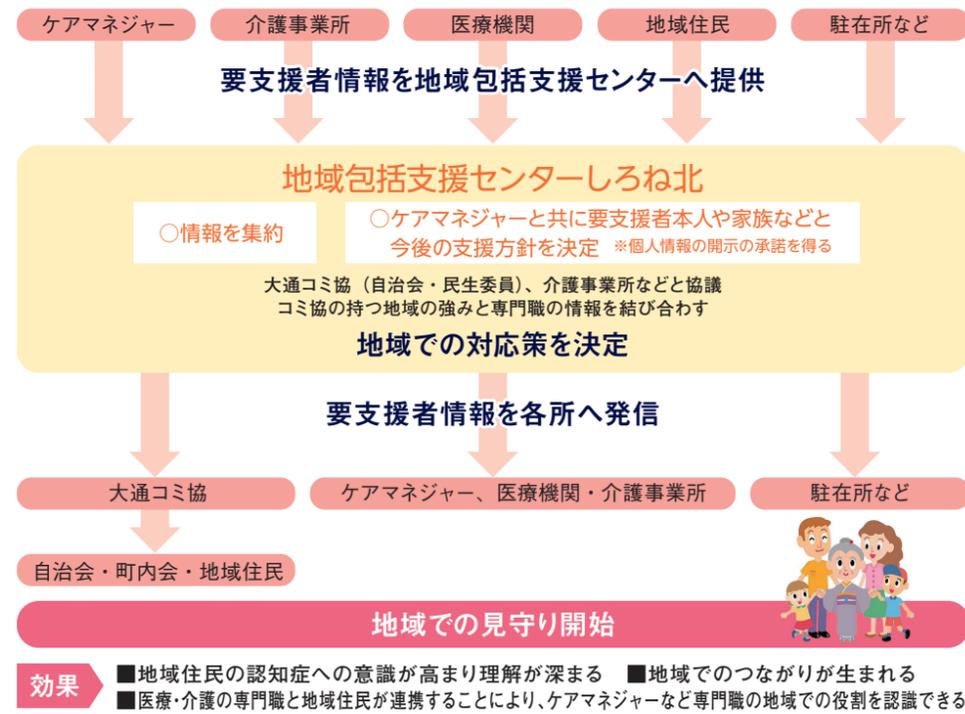
生活習慣病(糖尿病・高脂血症・高血圧)の予防と治療をしましょう。過度の飲酒、喫煙をやめ、歩くなどの適度な運動をしましょう。他人と積極的に交流したり、趣味を持ったりして生活を楽しむことも大切です。また、音楽を聴く、新聞や本を読む、日記をつけることは脳の活性化につながります。ラジオは声や音楽を聴きながら物事をイメージして理解します。テレビを観るよりも脳を使うのでお勧めです。

南区民へメッセージ 早期発見・診断・治療が大切です

不安に思ったら、まずはかかりつけ医に相談してみましょう。早期に発見できれば症状の進行を抑える薬を飲むことや、介護保険のサービスを始めるなどの対処により症状は安定します。新潟県民は忍耐強い人が多く、具合が悪くても我慢したり、病院でも遠慮して本音を言わなかったりします。遠慮なくどんどん自分の意見を言うことにより、より良い治療の選択につながります。

区内初の試み コミ協と医療・介護のプロが連携! 大通認知症みまもりネットワーク

大通コミュニティ協議会(大通コミ協)は、認知症の人を含めた高齢者などの見守りを地域で始めました。「地域のことは住民が一番知っている」という大前提の下、高齢者本人や家族が住み慣れた地域で継続して生活していくために、医療・介護のプロと連携していく仕組みです。



ネットワークの中心人物である大通コミ協の鞆子会長と地域包括支援センターしろね北の後藤さんは「実際にネットワークを使ってみると、さまざまな問題点などが出てくる。随時連携している機関と修正や改良をしながら、話し合いを続けていきたい」と声を揃えました。

大通地域も高齢化が進んでいます。高齢者支援は地域の大きな課題です。今回のネットワークは地域包括支援センターしろね北から協力をいただき、作ることができました。これを機会に地域内で認知症について認識を深め、支援をしていきたい。



大通コミュニティ協議会
会長 鞆子 幸一さん



地域包括支援センターしろね北
後藤 崇さん

高齢化が進む中で、専門職と地域がマッチングして見守ることで、安心して地域で過ごしていけるようになると良い。何よりも高齢者本人やご家族が住み慣れた地域での生活を望んでおり、相談も多く寄せられます。

相談してください!

地域包括支援センターは
高齢者の暮らしをサポートする機関です。

主な業務

- 総合相談と支援
- 介護予防のマネジメント
- 権利擁護事業
- ネットワークづくり

健康や介護、消費者被害、成年後見制度など気軽に相談してください。相談は無料で秘密は守られます。

区内の地域包括支援センターの取り組み

地域包括支援センター
しろね北
☎362-1750



今行われている住民同士の支え合いを大切にしながら「フットワーク・ネットワーク・チームワーク」を心掛け、地域支援の種を探し、地域の人や関係者と話し合いの場を設けるなど、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための取り組みをしています。

地域包括支援センター
しろね南
☎373-6770



平成30年から認知症予防と関係の深い「口腔ケア啓発」を白南中学校区で取り組んでいます。今年度は冊子づくりとお弁当を通し、歯に良い食事の啓発を庄瀬地域コミュニティ協議会と取り組みました。今後も認知症に理解・関心の持てる地域づくりをしていきます。

地域包括支援センター
あじかた
☎372-5121



「認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく生活するために」というテーマで地域に出向き啓発活動を行っています。コロナ禍でも地域の皆さんに認知症についての正しい知識を身に付けてもらえるよう取り組んでいます。

認知症カフェ〜より道カフェかけ橋〜

感染症予防対策を実施して開催しています!
☑2月27日(土)午後1時半〜3時
☑白根健康福祉センター
☑ハーモニカ演奏、茶話会、認知症予防体操など

☑300円(茶菓子代)

どなたでも参加できます。介護専門職も参加しますので、気軽に相談ができます。





児童館・児童センター 2・3月のイベント

白根児童センター ☎372-0530

- ミニひなまつり
- 回 2月20日(土)午前11時から
- 内 ひなまつりの雰囲気を楽しむ
- 内 未就学児の親子 先着10組
- 内 同センター

白根南児童館 ☎201-6021

- 第2回ドッジボール大会
- 回 2月20日(土)①午後1時15分~2時15分②午後3時~4時
- 持ち物 水筒、汗拭きタオル
- 内 ①小学3~6年生②小学1・2年生
- 各回先着20人
- 内 2月19日(金)までに同館

味方児童館 ☎201-8346

- ふゆまつり
- 回 2月20日(土)第1部:午後1時半~2時15分 第2部:午後2時45分~3時半
- 内 射的やお菓子釣りなどのゲーム
- 内 小学生 各回先着30人
- 内 2月18日(木)までに同館

白根北児童館 ☎379-1260

- はるまつり
- 回 3月14日(日)午前10時~11時50分 (全3回) 内 射的、鬼メツアウトなど
- 内 ①小学生15人②乳幼児の親子10組
- ③ ①②以外の親子10組
- 内 2月14日(日)から同館

子育てオーエンジャー☆みなみ

「子育てオーエンジャー☆みなみ」は子育て広場を運営する子育て支援リーダーの集まりです。区内の児童センター・児童館などで活動しています。お子さんとリラックスしませんか。

●ほっぺちゃんひろば

- 回 3月4日(木)午前10時~11時
- 内 白根児童センター
- 内 鷲尾助産師の話
- 内 乳幼児の親子 先着12組
- 内 3月3日(水)までに同館
- ☎372-0530



本に親しみ 読書の時間を楽しもう

白根図書館 ☎372-5510

- 読書会
- 回 2月21日(日) 午後2時から
- 内 白根学習館
- 内 テーマ「ショートショート千夜一夜」田丸雅智/著、小学館
- 内 当日直接会場へ
- 赤ちゃんタイム
- 回 毎週水・土曜 午前11時~午後2時半
- ※第1水曜は除く 内 白根図書館
- おはなしのじかん
- 回 毎週土曜 午後2時から 内 同館

月潟図書館 ☎375-3001

- おはなしのじかん
- 回 2月25日(木)午前11時~同30分
- 内 同館 内 乳幼児向け
- 内 当日直接会場へ
- 赤ちゃんタイム
- 回 毎週木曜 午前10時~正午 内 同館
- えほんのへや(絵本の読み語り)
- 回 毎週土曜 午前10時半~11時 内 同館
- ※蔵書点検期間のため2月17日(水)~24日(水)は休館します。休館中の「赤ちゃんタイム」と「えほんのへや」は中止します



令和2年の南区災害概況

南区の火災件数は9件で、令和元年に比べて4件減少となりました。昭和6年5月13日に470戸を超える住宅が全焼した白根大火から90年を迎えます。

	火災件数 (前年比)	救急件数 (前年比)	救助件数 (前年比)
南区	9 (-4)	1,611 (-383)	7 (-7)
新潟市	140 (-7)	35,203 (-3,729)	142 (+6)

大火があった日は風も強く、火が白根中心部の木造家屋に次々と燃え移り、大火災になったと考えられています。過去の被災経験を教訓とすることで、火災に強いまちづくりを目指しましょう。
※南消防署では、白根大火の資料を探しています。写真など資料の提供をお願いします
内 南消防署市民安全課 ☎372-0119



子どもの犯罪被害防止の 動画を作りました!



白根高校生が、子どもの犯罪被害防止のため、2つの動画を作成しました。

- ・「覚えよう!いかのおすし*」
- ・「考えよう!ネットとの付き合い方」

「新潟県警察公式チャンネル・YouTube」で見ることができます。

内 地域総務課 ☎372-6431

※「いかのおすし」とは・・・
いかない・のらない・おごえをだす・すぐにげる・しらせるの一部をつなげた防犯標語



新潟県警察
公式チャンネル



農作業のパート職員を募集

南区農業振興公社では、農作業を行うパート職員を募集します

- 雇用開始 3月以降
- 作業内容 南区内の農家の農作業(枝拾い、受粉、袋掛け、収穫、出荷などの農作業全般)
- 時給 831円から ※作業内容により異なります
- 勤務時間 1日5時間30分(作業内容、時期により変更あり)、週30時間以内
- 申し込み 2月26日(金)までに住所、氏名、年齢、連絡先を電話やFAX、メールのいずれかで同公社へ。後日説明会を予定しています。
- 内 同公社 ☎372-5024 FAX374-0780



メール



前田 推し maeda oshii!

みなみ一で地域応援隊の活動を紹介

ルレクチエのオンラインツアーを行いました!

南区は「ルレクチエ発祥の地」。そんな南区のルレクチエをPRするため、12月20日にオンラインツアーを開催しました!

ルレクチエのオンラインツアーとは!?



ツアー募集広告

- 内容
- ・ルレクチエの育て方やこだわりを紹介
 - ・ルレクチエ実食
 - ・カービングショータイム
 - ・ルレクチエ飾り付け体験

南区の農家、山田烈矢さんが協力してくれました!



見どころ盛りだくさん!ツアーで工夫したこと

①参加者にあらかじめルレクチエを送付!

ルレクチエを食べながら話を聞き、「Zoom」のチャット機能でルレクチエについて随時質問

②フルーツカービングショー

ルレクチエがバラに...!? 華麗なカービングを見学した後、参加者も実際に体験!



ルレクチエカービングショー



ルレクチエ飾り付け体験

③ルレクチエをクリスマス仕様に飾り付け!

ルレクチエと一緒に、飾り付け用のシールやサンタ帽を送付。その飾りを使ってかわいらしいルレクチエを作成&撮影

こんな成果がありました!

- ・ルレクチエをきっかけに南区を知ることができた。
- ・農家さんと交流ができるので通販とは違う楽しみがある。
- ・「南区に行ってみよう!」「南区が好きになった」と言ってもらえた。

南区の皆さまへ!

新型コロナウイルスの影響で他県との往来がしづらい状況ですが、オンラインツアーを通じての交流やPRができることを実感しています。皆さんが誇る、南区の魅力をオンラインツアーで発信しませんか!? アイデア募集中です!



オンラインツアーイメージ



白根高校1年生が地域を調査・発信しました!

～地域の魅力を伝える探究の授業～

白根高校では「南区おもてなし力向上プロジェクト」と連携し、南区をよく知るタウンガイドや、地域の人へのインタビューなどを通し、地域のことを学び、それを高校生らしい視点で発信してきました。この活動は、南区の魅力を知り・伝えることのできる「人材づくり」となっています。白根高校生が調査・発信するまでの活動を紹介します!

プロジェクトの流れ

- 4月 発信方法を知るため、ライター(作家)などのゲストから話を聞く
- 7月 生き方や仕事、活動内容についてデザイナーなどのゲストから学ぶ。「今昔写真ワークショップ(白根商店街をまちあるぎしながら、昔の写真と今の風景を撮り比べる)」を実施。地域の人へのインタビューを行う
- 8月 インタビューをもとに、どのような形で発信するか高校生が企画
プレゼンテーション用資料にまとめて校内で発表
- 9月 発信方法別に、ゲストからアドバイスをもらい、記事の制作
- 11～12月 ラジオ、インスタグラムなどを活用して発信
- 1月 これまでの取り組みを振り返り、発表会を実施



4月の活動



7月の活動



11月の活動

発表会の様子

1月22日に、白根高校1年生が今年の取り組みを発表しました。生徒たちは「自分で調べて発信することで達成感を感じた」、「班のメンバーの長所を生かし協力することができた」、「インタビューの仕方などを学んだ」などの成果や感想を話しました。

発表会に出席した「しろね大凧タウンガイド」副会長の本間初美さんは「白根のまちを学んで成長してもらえてうれしい。ぜひこれからも身近な地域の魅力に気づき、発信してほしい」と話しました。



高校生の発信内容は白根高校HPに掲載されています。



南区トレジャーハンティングは、住民の皆さんが南区役所だよりの記者となって地域の自慢のお宝を紹介するコーナーです。

「恩に報いる松の碑」

信濃川左岸堤防下に大きな石碑が建っています。明治時代中頃に堤防改修のため伐採された「報恩の松」を惜しんで建てられたものです。

文禄慶長年間(1592～1615)に相馬久右エ門という人がいました。久右エ門は新発田城主に仕えた後、旧赤塚村で鋳物師の修業をすと、荒地を開拓し村を起し「鋳物師荒野」と名付けました。藩主からその労を称えられ若干の田をもらった久右エ門は感激し、二本の松を植え「恩を知らないものは人でない。我が子孫となる者は恩を心に刻んで恩を忘れないように」と記しました。このことから松は「報恩の松」といわれ、地域の人に大切にされました。幹は10人の人が両手を広げて囲むほどの太さに、枝は天を覆うほどに茂りました。



相馬家の子孫は東京で医学を学んで東京大学に勤めたり、青森病院長の職に就いたりし、暮らしぶりは大いに栄えました。庄瀬小学校の校歌を作詞した相馬泰三氏も相馬家の子孫の一人で「田舎医者の子」など多くの著書がある作家です。

☒ 鋳物師興野



庄瀬地区地域通信員 田村義三郎さん

まちの話題

笹川邸消防訓練

1月26日の「文化財防火デー」に合わせ、24日に重要文化財旧笹川家住宅で消防訓練を行いました。地域の人たちが見守る中、何台もの消防車や救急車が出動し、訓練に向かう勇姿に子どもたちは目を輝かせました。もしものことを想定した緊張感の中、負傷者の搬送訓練や庭園での放水訓練が実施され、防火に対する意識を新たにしました。



支え合いのしくみづくりフォーラム



1月24日に「南区支え合いのしくみづくりフォーラム」を行いました。第1部は新潟医療福祉大学青木茂准教授が「コロナ禍で地域から孤立させないように『つながり続ける』福祉活動の大切さ」を語りました。第2部はパネルディスカッションで区内の3地区による取り組み事例が発表されました。コーディネーターの青木准教授は「地域福祉活動の今後の課題は人材確保。どのように、地域の若者を巻き込んで活動していくかが大事な要素となる」と話しました。

お知らせ

南区役所 ☎373-1000(代)

味方・月漏出張所へもつながります

区役所関係の問い合わせ先は、各係の直通番号です。時間外および閉庁時は代表電話にご連絡ください。

生活

油漏れ事故にご注意ください

冬期間はホームタンクからポリタンクへ給油する際に灯油を漏らしてしまう事故が多く発生します。

川などに油が流れ込むと、水道の断水、農業・漁業への被害、環境汚染などが発生し、油を漏らした人は対策費用や損害賠償を請求されることがあります。

日頃から次の点に注意して油漏れ事故

を防ぎましょう。

- ①給油中は、その場から絶対に離れない
- ②タンクのバルブを完全に閉めたか確認する
- ③タンクの配管、ホースなどを点検し、傷んでいたら新しい物に交換する

☒ 区民生活課 ☎372-6145

市民の情報掲示板

掲載を希望する場合は、3月7日号は2月8日(月)まで、3月21日号は2月22日(月)までに、掲載依頼票を提出してください(FAX可)。依頼票は南区役所ホームページ(本紙表紙参照)でダウンロードすることができます。※掲載は原則1回のみ

●シニア活躍セミナー

☒ 2月19日(金)午後1時半～3時半

☒ 新潟ユニゾンプラザ

☒ 講演「そうだったのか!シニアの働く意

味～幸せと健康の心理学～

講師:新潟青陵大学大学院 碓井真史教授

☒ 60歳以上の人 先着50人

☒ (公社)新潟県シルバー人材センター連合会 ☎281-5553

●無料カウンセリング

☒ 2月21日(日)午前9時～正午

☒ クロスパルにいがた

☒ 夫婦、家族、仕事、転職、人間関係などさまざまな悩みに心理カウンセラーが応じます(相談時間は1人50分)

☒ 先着10人

☒ 2月20日(土)までに新潟県カウンセリング協会 傾聴の会 ☎090-7831-3709

●市民公開講座「最新のアレルギー診療」

☒ 2月21日(日)午後1時半～4時

☒ 新潟ユニゾンプラザ

☒ 喘息や食物アレルギーなどアレルギー疾患の講演会 ☒ 先着80人

☒ 当日直接会場へ

☒ 新潟アレルギー研究会

☎0250-62-2780

●「もしもピアノが弾けたならの会」

スペシャルコンサート

☒ 3月3日(水)午後1時～4時40分

☒ 麗りゅーとびあコンサートホール

☒ 新潟大学「おとなのピアノ講座」修了者を中心としたピアノ演奏など

☒ 当日直接会場へ

☒ 同会長谷川 ☎080-5025-2102

●新潟いのちの電話

電話相談員養成講座 受講生募集

新潟いのちの電話はボランティアによる電話相談活動です。相談員になるためには、所定の手続きを経て審査を通過し、約1年間の研修を修了した後、認定を受けます。認定後は1カ月に1回の継続研修があります。活動はボランティアで原則無給です。

募集期間 2月26日(金)まで

☒ 「新潟いのちの電話」の趣旨に賛同し活動に参加できる心身共に健康な23～66歳の人

☒ 30,000円(受講料)

募集要項など詳しくは

☒ 新潟いのちの電話 検索

☒ 新潟いのちの電話 ☎280-5677

《広告欄》